

Face 顔

交通指導員歴18年

交通指導員の田口さんは、平成7年から板倉町交通指導員として18年間、雨の日も風の日も交通安全のため、街頭に立ち続け、町民の安全を守っています。長期にわたる交通指導員人生、町から「交通指導員を引き受けてもらえないだろうか」と依頼されたのが始まりでした。すぐには「はい」と言えず迷われたそうです。当時はまだ、現役のサラリーマン。はたしてサラリーマンにできるのだろうか悩みましたが、周囲のみんなのためにとの応援もあり引き受ける事にしました。

苦労の中で得た宝物

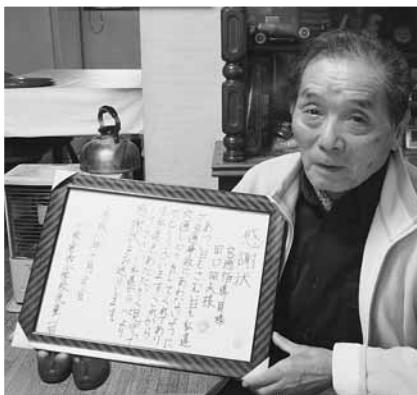
当然1期3年で辞めるつもりでしたが、気がつけば18年にも。確かに大変な事もあったそうです。定期的な交通指導に加え、安全週間の街頭指導、運動会など各行事への参加や会議など、自分の時間もままならない事もあったか。それでも続けてこられたのは、やはりやりがいや使命感があったからだそうです。街頭で会う人たちからの感謝の言葉や、特に子どもたちとの触れ合いには、温かいものがありません。



田口 昭夫さん

板倉町から事故を無くしたい 熱い思いで交通指導

Profile
たくち・あきお 大字板倉在住/安全協会で16年の活動経験を経て、56歳の時、板倉町交通指導員を委嘱。現在は在職している6名の交通指導員の中でリーダーを務めています。



ていた小学生が、中学生、高校生へと成長していく姿を見続けられるのも喜びの一つです。田口さんが活動してきた中で心に残っているのは、子どもたちから直接もらった手書きの感謝状。この手書きの感謝状を「今でも宝物にしています」とうれしそうに笑顔で見せてくれました。

不足する交通指導員

そんな田口さんにも心配な事があります。交通指導員を

引き受けてくれる人がいない事です。町の定員は11名ですが、現在は、わずか6名での活動が余儀なくされ、町の各行事への協力が難しくなっています。田口さんは「自分ができることはないだろうか」とボランティア精神をお持ちのかた、特別な資格は必要ありません。ぜひいっしょに活動しませんか」と呼びかけています。

増えつつある高齢者の事故にも気をつけるよう訴えていきたい」と抱負を語ってくれました。町民をこれからも見守り続けて行く姿勢に感謝の気持ちでいっぱいです。慌ただしい時期ですが、皆さん、くれぐれも交通安全を！

レポーター
広報編集委員
針ヶ谷 和巳



東洋大学 生命科学部
応用生物科学科
山本 浩文 教授



主な研究テーマ
・植物の薬用成分の生産についての研究
・機能性を指標にした植物の健全育成

植物の機能性成分が生まれる仕組みを知る

薬学博士でもある山本教授は、岐阜薬科大学・長崎大学薬用植物園で講義と研究を続け、その後、東洋大学板倉キャンパスで10年間の長期にわたり活躍されています。

主な研究内容は、植物の薬用成分のバイオテクノロジーによる生産についての研究です。植物には、自分の身体の中で薬用成分を作ることができるものと、同じ科に属していても、それらの成分を作れない植物とがあります。例えば、セリ科のアシタバには、血圧を下げる作用の薬用成分が含まれていますが、同じセリ科の人参にはそのような成分は含まれていません。

そこで、山本教授は、植物が薬用成分を作り出す神秘とその生産機構を探りながら、植物の薬用成分をバイオテクノロジーにより、効率良く安全に栽培する研究をしています。また、その研究を野菜の健全育成にも広げ、健全な野菜を育て食べてもらうことを通して、人々の健康維持に貢献したいと強く願い、日々研鑽を積み重ねています。

情報のキャッチボールを願って

山本教授は、シンポジウムやサイエンスカフェを通して情報を発信しています。「板倉町のかたが、どんなことを知りたいのか、ぜひ教えていただきたいので、それらを有効に活用していただくとありがたい」と話す山本教授。地域のかたがたを想う温かい気持ちが伝わってきました。更なる活躍を期待しています。

レポーター 広報編集委員 笠原 美樹

人々の健康を願う植物の生産機構を研究



また、食堂については、学生と同様に券売機で食券を購入してご利用いただけますのでお気軽にご利用ください。

問合せ 企画調整係
☎内線 141



みんなの

はがき・電話・FAX・Eメールでのご意見、ご質問、ご感想など「みんなの声」をお待ちしています！

Q

東洋大学図書館を利用したいのですが

最近、板倉町に引っ越してきました。町立の図書館がないことを残念に思っていますが、東洋大学板倉キャンパスの図書館を利用できること、また食堂も利用できることを知りました。

しかし、学生さんの中に飛び込む勇気もなく、利用の仕方分からず困っています。せつかくすてきなキャンパスが身近にあるので、利用の仕方などを周知していただき、もっと気軽に足を運べるようにしていただけたらと思います。

(匿名希望)

A

お気軽にご利用ください

東洋大学板倉キャンパスで

は、地域に貢献する大学を目指すし、施設の一般開放を行っています。板倉キャンパスでは、図書館、食堂及び売店が対象となっています。

図書館につきましては、板倉町に在住、在勤もしくは通学している中学生以上のかたが利用できます。事前の連絡は必要ありませんが、身分(在住、在勤、通学)を証明できるものが必要になります。なお、利用範囲は、図書・雑誌・新聞の閲覧と複写に限らせていただきますのでご注意ください。